

中島地区タウンミーティングでいただいた意見等と市の回答

☆	項目	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	魅力	<p>中島は自然環境に恵まれ、時間の流れもゆったりとしていて、まだまだ知られていない歴史的な資源が沢山ある。こうした島の魅力をどんどん発信して、中島のファンを増やしていただきたい。</p> <p>昨年「忽那諸島の歴史を探るシンポジウム」が開催された。中島でも忽那水軍についてよく知らないという方もいる。文化面にも力を入れて、シンポジウムも一過性のものにせず、小冊子にまとめ、地域から発信していただきたい。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p>■即時対応(年度内)</p> <p>□次年度以降</p> <p>□未定</p> <p>□不可能</p> <p>■その他</p>	<p>しまはく関連事業として開催したシンポジウムの記録集の作成要望も伺っていることから、発刊に向けて松山市文化・スポーツ財団と協議を進めてまいりたいと考えています。23年度以降も中島総合文化センターと考古館の連携により古代体験教室及び出前教室を継続して実施いたします。</p> <p>さらに中島を訪れた方が魅力を感じていただけるよう文化財の看板の付け替えについても、中島地区53件の指定文化財のうち、解説の看板が必要と思われる36件について、3月までに完了したところです。また、釣島灯台をめぐるツアー、文化紀行は毎年実施し、引き続き忽那諸島の歴史を紹介するとともに、忽那水軍をどのように盛り上げていくのかについても、地域の方々と行政が連携しながら考えていくことが大切であると考えています。</p>	<p>文化財課 三好 博文 948-6603</p>
2	魅力	<p>「広報まつやま」があるが、地域の情報をかわら版的なものでいいので、時々発行できないか。情報を共有することで、地域が繋がっていけると思う。</p>	<p>□可能</p> <p>□対応済</p> <p>□即時対応(年度内)</p> <p>□次年度以降</p> <p>□未定</p> <p>□不可能</p>	<p>かわら版的な地域の情報発信については、まちづくり協議会でのまちづくり通信や公民館だよりなどの活用が可能であると考えます。</p> <p>なお「広報まつやま」では、地域に伝わる昔話を題材とした、ふるさとの魅力を再発見し</p>	<p>広報課 門田 竜司 948-6705</p>

			<input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>ていただくための特集や、学校と地域がふれあい・交流する取り組みを掲載しているところであります。</p> <p>さらに今後は、地域の歴史や文化、人物などにスポットを当てた記事を掲載してまいりたいと考えています。</p>	
3	まちづくり	<p>中島には17集落あるが、まちづくり協議会で魅力集めと改善点を今年の秋までには全部終えて、中島をこうしたいという方向性を提出したい。</p>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山には公民館地域で41地区ありますが、まちづくり協議会と準備会を含め、立ち上がっているのが現在10地区です。「まちづくり協議会」で、魅力集めや改善点などを取りまとめ、今後のまちづくりに生かしていただきたいと思います。</p>	<p>市民参画まちづくり課 矢野 和喜 948-6963</p>
4	産業	<p>中島は日曜日に遊びに来てもお休みデーで、何もない。日曜日を楽しんでいこうということで、アンテナショップを去年からお願いしています。後押ししてほしい。</p>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>海の駅については、国庫補助事業で建設された施設がほとんどで、これらの施設は、特産品の展示は認められていますが、販売は認められていません。しかしながら、販売目的を地域の活性化に絞るなど、条件がクリアできれば、法的な手続きを踏んだうえで利用することも可能となります。なお、県との協議も必要となりますので、直接、具体的なお話をお聞かせいただき、県との協議に市も協力したいと考えています。</p> <p>アンテナショップについては、23年度予算の中で里島ツーリズム連絡協議会への補助金として支出し連絡協議会の予算の中で一定額が予算化されておりますので、今後、支所と一体となって、地元の方と協議させていただ</p>	<p>農林水産課 山内 宏文 政田 祐一 948-6565</p> <p>企画政策課 中富 宣行 948-6816</p>

				きたいと思います。	
5	産業	昔の姫ヶ浜はすごく賑やかだったが、今はさみしくなって、姫ヶ浜荘ぐらいしかないが、老朽化しているので、何とか考えていただきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>姫ヶ浜荘については、しまはくを開催するにあたり、トイレの修繕(洋式トイレの設置、外壁塗装)、浴場のカーペットの張替え、脱衣所の修繕、エアコンの取り付け等を実施しています。今年度は、地デジ対応のテレビを購入し、宿泊客のサービス向上、環境整備に努めます。</p> <p>建て替えについては、海岸整備工事をした後に、沿岸付近の地盤沈下が進行しているため、修繕か、あるいは建て替えか、どのような対策を講じることが最善であるのかを検討している段階です。姫ヶ浜荘は、平成17年度は767人だった利用客が、平成22年度は1,189人まで増加しています。修学旅行の体験学習などでも利用していますので、今後もこの施設をさらに活かしていきたいと考えています。</p>	観光産業振興課 池田 剛典 948-6556
6	まちづくり	公約で「愛ランド里島構想」を掲げているが、どのようなことを予定しているのかお聞きしたい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>「愛ランド」は島、「りとう」は「ふる里の島」であると考えます。誇れる海のきれいさ、海の幸がある。四季折々で風の香りが変わる。「ふるさとみたいなところ」と感じてもらうようにしよう、島の人に元気になってもらおう。島にもっと来てもらおう。島の魅力を感じてもらおうというのが、「愛ランド里島構想」の考え方です。</p>	企画政策課 中富 宣行 948-6816

7	防災	<p>教員住宅が数戸空いていると思うが、被災者の受入に活用できないか。</p>	<p><input type="checkbox"/>可 能</p> <p><input type="checkbox"/>対応済</p> <p><input type="checkbox"/>即時対応(年度内)</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>未定</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>教員住宅は中島全部で72戸、入居が33戸、空室が39戸です。休校から再開する場合や教職員の人事異動の関係で、使用する可能性も考えられます。</p> <p>教員住宅のまま貸し付ける場合には、本来教員に住んでいただくために建設されましたので、教員住宅という目的を妨げない範囲で、有償での使用が認められる形になります。また、目的を特定しない財産に用途を変更する場合は、教員住宅にとらわれることなく、利用を検討することができます。</p>	<p>学校教育課 小田 克己 948-6872</p> <p>学習施設課 岡 健二 948-6585</p>
8	過疎・福祉	<p>前々から島に住んでみたいというメールが送られてくるが、空き家を紹介することができない。まず試しに住んでみることであればよいと思う。また、農業でも体験するために1週間なり1カ月なり、住みながら体験出来るというような利用の仕方は出来ないか。そうすれば、人に来てもらいやすいし、泊まる場所もないのに来てほしいというのも無理な話である。</p> <p>船が欠航になった時、海の駅を緊急避難的な利用ができないか。</p>	<p><input type="checkbox"/>可 能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>対応済</p> <p><input type="checkbox"/>即時対応(年度内)</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>未定</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動としてのグリーン・ツーリズムがあります。本市では、愛媛県グリーン・ツーリズム推進協議会が中心となり、里・山・海にある地域資源を活かした愛媛型グリーン・ツーリズムを積極的に推進しております。</p> <p>その協議会において、情報発信や農林漁家民宿の運営等を支援するための講座などの人材育成、普及啓発なども行っております。</p> <p>中島海の駅は、各島の特性を活かし来島者に島の情報を提供するとともに、都市住民との交流の促進や地域活性化を図るため、「松山市海の駅条例」に基づいて現在7施設を設置しております。当該施設は、緊急避難的な施設利用は可能ですが、夜間における管理人の確保、宿泊を伴う場合の設備が十分でない等</p>	<p>農林水産課 西田 忠司 中村 祐子 948-6567</p> <p>農林水産課 山内 宏文 政田 祐一 948-6565</p>

				<p>の理由により利用できない場合がありますので、利用の際には農林水産課の施設担当までお問い合わせください。</p> <p>本市では離島への移住・交流の取組みとして移住相談窓口を設置し、希望者が必要とする情報を提供しています。また、松山離島振興協会を「移住サポーター」として選任し、市と協働で移住交流者の増加を目指した取組みをしています。その取組みの中で、平成19年度に空き家調査を実施し、平成20年度から睦月島で1件を空き家バンクに登録し、希望者に情報提供したところ、定住者が出た実績があります。</p> <p>体験居住についても、良いご意見だと思いますが、そのための住居の提供や農業体験は地域のご協力が必要ですので、ご意見を踏まえて今後検討してまいりたいと考えております。</p>	<p>企画政策課 中富 宣行 948-6816</p>
9	まちづくり	<p>せっかくまちづくり協議会もできて、話を集約している中で、年に1回ぐらい、協議会の会員さんと、支所を中心としてでもいいですが、ざっくばらんに話し合える場をつくってほしい。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>現在もまちづくり協議会の役員会等に支所・市民参画まちづくり課等の職員が出席させていただいておりますので、機会をとらえ、更なる意見交換を図って参りたいと考えています。</p>	<p>市民参画まちづくり課 矢野 和喜 948-6383</p>
10	過疎・福祉	<p>地区社協の地域福祉の拠点整備について、廃校の施設、東小学校を有効利用するというところで、</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内)	<p>現在、松山市内にふれあいいきいきサロンが244カ所、高齢クラブが302クラブあり、それらが、地域の身近な拠点である、およそ</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 948-6410</p>

		<p>合併の当時に議論して、合併審議会にもこの東小学校の有効利用ということは再々お願いしていた。それが、しない方向にいつているのではないか。ぜひ、6つの島の拠点になる施設をつくっていただきたい。大きな施設は不要で、小学校の廃校の跡を有効に利用したいと願っている。</p> <p>福祉関係の団体が6団体、それからボランティア団体。今はばらばらで、ましてや島が6つあるのに、そこの会長さんがここへ来ても自分の居る場がない。そういうような状況で福祉を充実して、やっていきたいと言っても、拠点が無いのでは。1つのところに根をおろせば、横のつながりがうまくいき、効率的な福祉行政、対策ができる。</p>	<input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>490 カ所の公民館や集会所などを利用しながら活動していますので、現在のところ新たな福祉センターの設置の予定はありません。</p> <p>しかし、中島地域の福祉団体関係の集約に関しましては、7月17日の中島地区の総代会、あるいは11月8日のまちづくり協議会の役員会等の中でも、中島支所の建て替えの問題も含めて、福祉関係の施設の統合の話が協議されたということで、陳情書が届いておりますことから、皆様が活動しやすい、あるいは行政と連携しやすい、福祉関係の拠点づくりについて、現在、調査研究をしています。</p> <p>小学校の跡地については、地域の核になる施設として、まず公共施設としての利用を検討し、公共施設としての利用がない場合に、初めて民間に提案をいただくという形を考えています。福祉の拠点整備の要望があるのであれば、十分検討させていただきたいと思います。</p> <p>なお、南小学校につきましては、4月に民間の提案を受けるべく、公募をしています。同じような形で、天谷小学校の横に天谷分園がありましたが、既にジュース工場として、地域の1つの魅力に繋がるということで民間が活用しています。</p>	<p>介護保険課 金森 和久 保健福祉政策課 野本 晴夫</p> <p>企画政策課 中富 宣行 948-6816</p>
11	過疎・福祉	<p>東小学校は、合併前から福祉の拠点にするということで説明してきた。いまさら民間が利用する</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内)	<p>平成22年11月8日付けで中島地区まちづくり協議会会長及び中島総代会会長の連名により「中島支所を建て替える際に福祉関係団</p>	<p>保健福祉政策課 野本 晴夫 948-6821</p>

		とかいうのは目的がそれているのではないか。1日も早く方針を決めてもらいたい。	<input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	体の集約をしていただきたい」旨の要望書が提出されており、現在、調査研究をしています。この調査研究の結果により、旧中島東小学校の活用方法が決まってくるものと考えております。	
12	過疎・福祉	高齢者に対する支援が、本島地区と格差があるのではないか。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>高齢者の方々には、様々な高齢者福祉のサービスをご利用いただいております。</p> <p>高齢者対策におきましては、市全体の問題として捉え、適宜所要な施策を講じているところであり、今後におきましても、離島地域や中山間地域も含め総合的に検討していきたいと考えています。</p>	<p>高齢福祉課 田中 学 松友 あすか 948-6408</p>
13	過疎・福祉	<p>中島には立派な病院が出来たが、ほかの島の方はどうしても松山の方に行く。そうすると、運賃が日本一高い。</p> <p>せめて高齢者には1割程度の補助ができないか。昔、離島航路というので中島町は補助があったが、そういう制度があるのか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>通勤・通学者定期運賃補助制度は、合併後も引き続き実施しています。</p> <p>また、島しょ部から、船と電車を使って、松山の医療機関に行かれる方も多いと伺っています。</p> <p>まずは、こうした現状について把握をさせていただき、検討したいと考えています。</p>	<p>企画政策課 中富 宣行 948-6816 高齢福祉課 田中 学 松友 あすか 948-6408</p>

14	産業	<p>アンテナショップに関連して、中島の産物、海産物、農産物、嗜好品、また新しい品をつくり出す人もおられるが、中島だけでは消費し切れない、販売も少ないので、販売開拓、販売拡大も含めて、松山でアンテナショップの常設をお願い出来ないか。予算的に厳しい折、いつまでにとかいうことではないが、許される範囲内で、松山へもアンテナショップ、海のもの、山のもの、そして嗜好品、それから新しい、皆がこういうものをつくって売りだしたいというPRも含めて、ぜひお願いしたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>商店街で中島の特産品を売っていただく店を出すことについては、商店街と連携して地域を活性化させるための制度として松山市商店街空洞化対策事業があります。改装費や運営管理費等に係る経費の2分の1以内の額を3年以内で補助する事業ですので、皆さん共同で考えて提案していただければ、市としましても協力していきたいと思えます。</p> <p>なお、現在、三津の朝市の新たな展開について調査研究に入っておりますことから、三津の朝市との連携なども視野に入れ、先進地の成功事例なども参考にしながら検討していきます。</p>	<p>地域経済課 八塚 健 948-6548</p> <p>産業政策課 芳之内 淳 948-6952</p>
----	----	---	---	--	--

15	まちづくり	<p>昔は三津はにぎやかだったが、今は寂れている。三津が栄えることによって島も栄える、島が栄えることによって三津も栄える。三津は協議会が立ち上がったようですから、昔から仲間なので、三津の皆さん方と相談しながら、いい方法をとったらどうなのかと思う。</p>	<p>■可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 ■未定 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>中島と三津浜地区は歴史的にも強いつながりがあります。これからのまちづくり協議会の活動において、お互いが連携・協力し、よりよいまちづくりにつなげていただければと期待しています。</p> <p>三津浜の商店街で中島の特産品を売っていただく店を出すことについては、商店街と連携して地域を活性化させるための制度として松山市商店街空洞化対策事業があります。改装費や運営管理費等に係る経費の2分の1以内の額を3年以内で補助する事業ですので、皆さん共同で考えて提案していただければ、市としても協力してまいりたいと思います。</p>	<p>市民参画まちづくり課 矢野 和喜 948-6963</p> <p>地域経済課 八塚 健 948-6548</p>
16	産業	<p>例えば怒和地区ですが、専門者が元怒和だけで26名。地産のひじきが非常に好評です。今、やっているが、場所が無いので、自分のところにつくっている。海の家なんか、せっかく立派なのがあるのに、展示だけ。販売は無理か。</p>	<p>■可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 ■未定 <input type="checkbox"/>不可能 ■その他</p>	<p>ひじきにつきましては、全国的に、優良産地がないことから、本市のブランドにしようと考えており、現在、ひじきの天日干しのための架段式の設備を各漁協に整備するとともに、干場確保のための舗装も行なっているところです。</p> <p>次に、海の駅での販売についてですが、海の駅は、特産品の展示は認められていますが、販売は認められていません。しかしながら、販売目的を地域の活性化に絞るなど、条件がクリアできれば、法的な手続きを踏んだうえで利用することも可能となります。なお、県との協議も必要となりますので、直接、具体的なお話をお聞かせいただき、県との協議に市も協力したいと考えています。</p>	<p>農林水産課 竹縄 良一 948-6564</p> <p>農林水産課 山内 宏文 政田 祐一 948-6565</p>

				<p>商店街で中島の特産品を売っていただく店を出すことについては、商店街と連携して地域を活性化させるための制度として松山市商店街空洞化対策事業があります。改装費や運営管理費等に係る経費の2分の1以内の額を3年以内で補助する事業ですので、皆さん共同で考えて提案していただければ、市としましても協力していきたいと思っております。</p>	<p>地域経済課 八塚 健 948-6548</p>
17	防災	<p>中島の場合、ほとんどの避難場所が、集会所・学校の跡地、これがほとんど海岸端です。もし2メートルぐらいの津波が来た場合には、真っ先に命を落としてしまう場所と思われる。前から気になっていたが、地域ともども頭へ置いて考えなければならぬ問題だと思っております。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>南海地震は、今後30年以内に60%程度の確率で発生すると言われております。南海地震のときの津波は、松山港で第1波の到着時間をおよそ2時間10分後、最大の津波の高さを2.4メートルと予測しております。</p> <p>今回お配りした防災マップで海岸部の高潮、津波浸水警戒区域の色が着いているところが浸水の危険がありますので、ご確認ください。</p> <p>津波に対しては、少なくとも5メートル以上の高台、そして、また頑丈な建物の3階以上の場所に避難するのが有効です。</p> <p>避難につきまして、災害時に避難する場合避難準備情報をデジタル防災行政無線で出しております。台風の場合は高潮ですから、災害時の要援護者とか、お年寄りの方は避難準備情報でゆっくり準備していただくような形で、急に来る津波につきましては、直近の高台に避難する。また学校、避難所でなくても、病院の屋上等、高いところにまずとりあえず</p>	<p>防災対策課 926-9137</p>

				避難していただく体制をとることが必要です。それも地域、島によって違うと思いますので、その状況に合わせて自主防災組織等での検討をお願いします。	
18	産業	中島はものすごくいい環境のもとにおかれている。このすばらしい、恵まれた環境を生かし切っていないように感じる。これは農家も農協も両方が一体にならないとだめだと思う。中島は、本当に日本一恵まれたかんきつ産地だと思っております。ここの認識を、再認識していただきと思います。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	中島は、年平均気温が16℃前後で冬期の積雪・降霜の害も少ない温暖な気候で、果実の肥大など生育面では、好条件がそろっております。また、地形も傾斜地が多く、排水良好で果実の糖度が上がりやすいなど、かんきつ栽培に非常に適しております。このような条件を活かして、カラマンダリンなど有望かんきつ品種の栽培の推進や、ライム・アボカドなど松山市独自の有望品目の導入も推進しているところです。	農林水産課 森貞 貴子 948-6566
19	産業	去年の6月ごろからイノシシ被害が出ている。大変な被害です。広島の陸地から新天地を求めて泳いで来るようで、それが増えた結果、ミカンを食う。その防御に対して鉄柵、電気、金額はまだ全部じゃないと思うが、5,600万円ぐらい、救済できない期間の中に入っている。何とかならないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	イノシシにつきましては、北条の奥、玉川と接しているところ、小野地区などもかなりの数出現し、大変被害を受けている状況です。その対策につきましては、市全体で対策を講じる必要がありますので、現在、鳥獣被害防止計画を策定すべく取り組んでいるところです。 なお、鉄柵、電気柵の補助につきましては、申し訳ありませんが、遡及することは出来ませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。	農林水産課 山本 秀彦 山本 常稔 948-6567

20	産業	<p>3月議会に新しい施策を織り込んでいるがそのあたりをお聞かせ願いたい。もう一つ、各地区の総代さん方が猪対策協議会を立ち上げて、怒和島は25頭ぐらい、本島は30頭余り、60頭余りとなっている。これも情報のない、どうやってとったらいいのかが分からない中で、非常に苦心して、罠をかけているが、いち早く専門の知識入れてほしいと思う。各地区の総代さん方が個体を捕獲したときに、その処理に大変困っている。改めて再調査していただきたい。</p> <p>怒和島を中心に広島から入ってくるのを防ぐため、海岸線へ鳥獣防除を自ら設置する試みもあるが、課題は、お金がかかるので、島だけ特別にということになるが、実態調査を行い、島にあった対応を考えていただきたい。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p>■即時対応(年度内)</p> <p>□次年度以降</p> <p>□未定</p> <p>□不可能</p> <p>□その他</p>	<p>昨年9月補正予算で予算の追加や防護さくへの支援を内容とする緊急事業を実施しました。</p> <p>平成23年度からは新たな支援に取り組むこととしており、捕獲報償金はイノシシ1頭に対して2万円、猿は1頭に対して3万円、また、電気柵と金網など防護柵等の新設の経費、狩猟免許の取得に要する経費、箱罠の購入に要する経費に対して補助をすることとしています。</p> <p>さらに、現在の単独設置に加えて共同設置に対する支援制度をつくり、それにかかる補助対象事業費を増やすことにしています。被害に遭われた場合、農業指導センターで、市販のおよそ10分の1の価格で紅まどんなやせとかなどの、有望品種の苗木を分譲していますので、活用していただきたいと思います。</p> <p>今後、行政、農業団体、猟友会、農業者など、関係機関、団体で構成する有害鳥獣防止対策協議会を設置することとしており、その中で鳥獣被害防止計画の策定や有害鳥獣対策、捕獲隊員の育成・確保、地元の方々への啓発などを協議検討していく予定です。</p> <p>松山市においても捕獲した鳥獣の処理は、愛媛県の鳥獣保護計画に従い、原則として埋めていただくことになっています。今後、処理方法についても協議会で協議をしていき</p>	<p>農林水産課 山本 秀彦 山本 常稔 948-6567</p>
----	----	---	---	--	---

				<p>たいと考えています。</p> <p>今後は、例えば、猪カレー等、ただ獲る、埋めるだけではなく、何かいい方法がないか検討していきたいと思います。</p> <p>実態調査についても、十分に把握した上で、必要な対策を講じたいと思います。</p>	
21	産業	<p>島の誇る魅力のあるミカンの中で、従来の温州、伊予柑がちょっと低迷した中で、新しい品種、まどんな、せとか、カラマンダリン、これは松山市のブランド品目に選定いただきまして、いろんな支援を受けております。今回、せとかが寒冷でかなり被害を受け、イノシシの被害の上へそれがかぶさった形で、非常に困難をきわめている。しばらくそういうブランド品目の施設に対しての支援をお願いしたい。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p><input type="checkbox"/>即時対応(年度内)</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>未定</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>本市は、全国でも有数のかんきつ産地であり、農業産出額のおよそ半分は、かんきつ類となっております。しかしながら、近年の農産物価格の低迷、消費者ニーズの多様化により、かんきつ農家の経営は非常に厳しい状況であることは、十分認識しております。</p> <p>そこで、本市としましても、農家所得の向上のため、消費者や市場ニーズにあった高収益の見込める優良中晩柑類への転換推進、ブランド認定かんきつ類の高品質・安定生産に必要な栽培施設導入支援などを実施しております。</p> <p>また、生産面だけでなく、販売面にも着目した事業も展開しております。</p> <p>今後も、本市特有の農産物などの地域ブランド化の確立、産地の活性化などの取り組みを重要な課題として取組んでまいります。</p>	<p>農林水産課 森貞 貴子 948-6566</p>

22	産業	<p>漁業が非常に元気がない中で、ひじきが非常にいい、収穫が増えています。それを見込んで中島町の管内だけではなく、松山市の沿岸を含めて13カ所、広大なひじき干場を考えていただきました。それらの増養殖、そして加工、我々の島の人も一生懸命やりますので、我々の足りないところを専門的な知識をお願いしたい。</p>	<p>■可能 ■対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市の重点事業として、平成22年度に「瀬戸の島ヒジキ加工施設設置事業」を立ち上げ、管内13漁港においてヒジキ天日干し施設、約12,000㎡のコンクリート舗装及び市単独事業として架段式施設を管内3漁協で260基の整備を完了いたしました。</p> <p>その成果について貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げますとともに、今後におきましても、ヒジキ増産のための藻場拡大造成事業・品質向上のための高品質商品開拓事業の3本柱を基軸として、漁業者の方々や県等関係機関とも協議しながら事業推進を図り、ひじき産地としての基盤を固めてまいりたいと考えています。</p>	<p>農林水産課 竹縄 良一 948-6564</p>
23	過疎・福祉	<p>老人福祉について、地区で1人暮らしの老人が亡くなったが、3日間ほど発見されなかったということで、今年、地区としては、元気なときは旗を出すとか、そんなことでもして対応していこうと思っているが、松山市としても何かいい方法があれば、知恵も貸していただきたいし、また、そのような取り組みに対しても、何かお手伝いをしていただきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市では概ね65歳以上の1人暮らしの方、あるいは高齢者の世帯の方に対して①緊急通報システムの設置、②みまもり員により定期的にご家庭を訪問させていただく事業、③松山市所有の電話回線を設置して、地域包括支援センターにより安否確認を行うなどの事業を主に展開しており、こういった事業を組み合わせる中で、不安の解消に努めています。また、個別のご相談等にも応じていますので、ぜひご相談ください。</p>	<p>高齢福祉課 松友 あすか 富永 篤則 948-6408</p>

24	過疎・福祉	<p>ヌカバの海水浴場について、今まで地域として何とか細々と携わって、施設の改修等もしてきた。今、年間 600 から 700 人ぐらいの観光の方がテントで宿泊されているが、着がえをする施設もかなり老朽化して、地区としても今までそういう対策はしてきたが、予算的にも非常に難しいし、何とかご検討をしていただきたい。</p>	<p>■可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 ■未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>現在、ヌカバ海水浴場から歩いて 10 分程度のところにある休校中の小学校の体育館、集会所を宿泊施設として運用していますが、姫ヶ浜ビーチ、姫ヶ浜荘、大串キャンプ場などと併せて、まずはまちづくり協議会の中で話していただき、行政と地元がどのような役割分担していくのかなども含めて、検討していきたいと思います。</p>	<p>観光産業振興課 池田 剛典 948-6556</p>
----	-------	---	---	--	---